

平成31年度

鳥取大学大学院医学系研究科

保健学専攻

博士後期課程学生募集要項

(社会人入学のための昼夜開講制実施)

鳥 取 大 学

鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程教育に関する三つの基本方針

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

保健学専攻博士後期課程では、医学系研究科における学修と経験を通じて以下の場合に、博士（保健学）の学位を授与します。

- 1 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、査読つきの学術雑誌に掲載された博士論文についての審査および試験に合格すること。
- 2 保健学の実践を目指し、優れた能力と高い倫理観および責任感を身につけていること。
- 3 心と科学の統合の実践を行い、研究活動を実践できる高度な研究能力を身につけていること。
- 4 教育・医療・研究・行政関連領域において、指導と管理を担うための優れた能力を身につけていること。
- 5 学際的、国際的な視野にたち、研究活動や保健医療活動へ貢献できる優れた能力を身につけていること。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保健学専攻博士後期課程では、学位授与の方針で示す能力を身につけることができるよう以下に掲げる目標のもとに体系的な教育課程の編成と研究指導を実施します。

- 1 教育・研究に必須な倫理観の涵養と保健学の基盤となる知識の習得。
- 2 統合保健学の科学的思考に立脚し、国際的な視野に立ち、保健学におけるニーズや問題について教育・研究ができる人材育成。
- 3 看護学と医用検査学を融合させて、自立して保健学の教育・研究ができる医療人および研究者の育成。
- 4 医療人として、高度先進医療やチーム医療体制などを理解できる教育・研究能力の養成。

III. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

- 1 保健学専攻博士後期課程では、次のような入学者を求めています。
 - (1) 研究課題を解決するために必要な基礎学力を備えている人
 - (2) 保健医療の分野において、科学的思考に基づき、自ら課題を発見し、解決しようとする意欲をもっている人
 - (3) 専門職業人として、教育課程や研究活動での学びを活かし、研究成果を地域に貢献、還元したいという積極的な意欲をもっている人
- 2 こうした入学者を受け入れるために、多様な入試方法によりその適性を確認します。

目 次

募 集 要 項

I. 専攻及び募集定員	1
II. 出 願 資 格	1
III. 出願資格の認定	1
IV. 出 願 手 続	1
V. 入 試 方 法	3
VI. 合 格 発 表	3
VII. 入 学 手 続	4
VIII. そ の 他	4

入 学 案 内

I. 目 的	5
II. 修 業 年 限	5
III. 授業区分・指導体系等及び指導教員	6
IV. 授業科目及び授業内容	6
V. 履修方法、修了要件及び学位授与	8
VI. 社会人受入のための昼夜開講制	8
VII. 長期履修制度について	9
VIII. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について	9
IX. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）	9
X. 奨学金制度について	9

米子地区案内図	10
---------	----

平成31年度鳥取大学大学院医学系研究科 保健学専攻博士後期課程学生募集要項

I. 専攻及び募集定員

専攻	部門名	募集定員
保健学	統合保健学	4人 (社会人若干名を含む。)

出願を希望する者は、出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合、研究領域や研究指導者について相談したい場合は、事前に医学部学務課教育企画係にメールで照会してください。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び平成31年3月31日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 修士の学位を有する者
2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号参照）
7. 当該研究科において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

(注)

上記6に該当する者は、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等で2年以上研究に従事した者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者

III. 出願資格の認定

II. 出願資格の2、3、6、7のいずれかにより出願を希望する者は、下記期間に鳥取大学医学部学務課教育企画係へ「出願資格認定申請書(様式A)」、「履歴書(様式B)」、「大学の卒業証明書(本学医学部卒業者は不要。）」、「研究業績調書(様式1)」、「返信用封筒(定形型封筒(長形3号)に郵便切手362円分(速達料を含む)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。）」を提出してください。

第1回 平成30年6月4日(月)から6月8日(金)まで(必着)

第2回 平成30年9月25日(火)から10月1日(月)まで(必着)

なお、審査の結果は、第1回は平成30年6月26日(火)、第2回は平成30年10月26日(金)までに本人あてに通知書を送付します。

IV. 出願手続

1. 出願期間

第1回 平成30年7月5日(木)から7月12日(木)まで(必着)

第2回 平成30年11月8日(木)から11月14日(水)まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

3. 出願方法

入学志願者は次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学医学部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒（角型2号）の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受け付けないことがあるので、十分留意してください。

4. 出願書類等

出願書類等	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票に所要事項を記入のうえ、提出してください。
(2) 写真票・受験票	所要事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。）を貼って提出してください。
(3) 成 績 証 明 書	出身大学長（研究科長）が作成し、厳封したものを提出してください。（博士前期（修士）課程の成績証明書）
(4) 博士前期（修士） 課程修了（見込） 証明書	1 通（ただし、出願資格の認定を受けた者は不要です。）
(5) 修士学位論文要旨 又は研究業績調書	修士の学位を有する者は、学位論文要旨又はその要旨の写。それ以外の者は、本研究科所定の研究業績調書（様式1）を提出してください。
(6) 検 定 料	検定料 30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口（郵便局、ゆうちょ銀行を除く。ATMは利用しないでください。）から振り込みの上、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。 また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。 検定料振込期間 第1回 平成30年 7月 3日（火）から 7月12日（木）まで 第2回 平成30年11月 6日（火）から11月14日（水）まで なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合 b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記a～cに該当する場合は、必ず医学部学務課教育企画係（TEL(0859)38-7106）へ連絡してください。（返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。） ただし、平成31年3月に本学研究科の博士前期（修士）課程を修了見込みの者で引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち、日本政府（文部科学省）国費留学生は検定料の支払いは不要です。

(7)受験承認書	現在、官公庁、学校、会社等に在職している者は、当該所属長の受験承認書（様式2）を提出してください。 なお、退職して入学する予定の者は本人がその旨を記載した文書（署名、押印）をもって受験承認書に代えることができます。
(8)志望理由書	(7)に該当する者は、本人の受験に至った志望理由書（様式3）を提出してください。
(9)宛名票	本研究科所定の宛名票（様式4）に所要事項を記入の上、提出してください。
(10)住民票等 （外国人のみ）	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(11)返信用封筒 （受験票送付用）	定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む。）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

- (注) 1. 本学大学院医学系研究科博士前期（修士）課程修了（見込）者は、上記の(3)、(4)、(5)の出願書類は不要です。
2. (7)について、本学医学部または附属病院に勤務する者は、本学医学部総務課人事係へ申請してください。

※受験票は、第1回については7月17日（火）頃、第2回については11月16日（金）頃速達郵便で発送します。

受験票が、第1回については7月23日（月）、第2回については11月26日（月）を過ぎても到着しない場合は、医学部学務課教育企画係（TEL（0859）38-7106）へお問い合わせください。

V. 入試方法

試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。
なお、試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 平成30年 8月 9日（木）

第2回 平成30年11月30日（金）

時 間	試 験 内 容		試 験 場
9:00 ～ 9:50	外国語（英語）	筆記試験	鳥 取 大 学 医 学 部
10:20 ～ 11:30	小論文	筆記試験	
12:30 ～	面 接 （専門科目の口述試験を含む。）		

- (1) 試験室等詳細については、受験票送付時にお知らせします。
(2) 外国語の試験については、辞書（和英、英和及び英英辞典のみ。）の持ち込みを許可します。（ただし、電子辞書は除く。）
(3) 試験当日は8時40分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 平成30年 8月31日（金）

第2回 平成31年 1月 8日（火）

鳥取大学医学部ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか入学手続に必要な書類を送付します。（不合格者には通知しません。）

鳥取大学医学部ホームページURL：<http://www.med.tottori-u.ac.jp/exam/>

なお、電話による合否の照会には応じません。

Ⅶ. 入学手続

平成31年2月12日(火)から平成31年2月27日(水)まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円(予定額)

① 合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし、平成31年3月に本学大学院博士前期(修士)課程を修了し、引き続き本課程に進学する者及び日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。

② 振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

③ 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

④ 入学料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円(予定額) [年額 535,800円(予定額)]

① 納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。

② 本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。

③ 口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

④ 授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて納入することができます。

⑤ 前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が平成31年9月30日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。

⑥ 授業料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に授業料を納入しないでください。

* 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

Ⅷ. その他

1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。

2. 提出書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

3. 身体に障がいのある方で受験の際に配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。

4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務(入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。)及び入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

鳥取大学大学院医学系研究科 保健学専攻博士後期課程入学案内

I. 目的

保健学専攻博士後期課程においては、看護学と医用検査学を融合させて、科学性を更に強化した「心と科学の統合（統合保健学）」の樹立を掲げ、保健学の教育・研究者の育成を目的とします。

具体的な教育・研究目的は、以下のとおりです。

- (1) 保健学の実践の改革を目指し、専門性の高いケアの開発
- (2) 統合保健学の実践を行い、関連領域との連携を密に持ちながら、研究活動の実践
- (3) 教育・医療・研究・行政関連領域において社会の変革に対応できる指導と管理
- (4) 高齢化社会と地域医療という世界共通の立場に立って、学際的、国際的な視野にたち研究活動、保健医療活動への貢献

育成する人材としては、「統合保健学」の科学的思考に立脚し、医療の本質を理解し、患者の生活支援と医学的検査の両面を統合的に理解・実践できる保健学の教育・研究者とします。具体的には、以下のような人材の育成を目指します。

- (1) 日本の社会構造や施策が刻々と推移するなか、疾患構造や地域性の変化を理解し、それらに関する膨大な情報を的確に分析・処理できる人材
- (2) 科学的思考に基づき疾病の本質を十分に理解した上で、患者、家族、地域のニーズや問題を考えながら、教育・研究ができる人材
- (3) 多様な価値観を理解しながら、疾患のケアにとどまらず、医療人と他職種間との協調によるチーム医療体制を理解し、教育・研究が行える人材
- (4) 医学、医療の進歩を含めた高度先進医療を理解し、保健学の教育・研究活動ができる人材
- (5) 「統合保健学」の履修を通じて培われた能力を基盤にして、保健医療における問題点を見だし、それをテーマとして研究方法を開拓し、自立して研究ができ、かつ、その研究成果を地域に還元できる人材
- (6) 医療人として地域に貢献、還元することの重要性を認識させ得る教育能力を有する人材

II. 修業年限

博士後期課程

標準修業年限 3年

Ⅲ. 授業区分・指導体系等及び指導教員

区 分	授 業 体 系	専 任 指 導 教 員
共通科目 (必修科目)	統合保健学研究方法特論	浦上克哉教授、深田美香教授 花木啓一教授、萩野浩教授、 安藤泰至准教授
統合保健学専門科目	成育保健学	花木啓一教授、鈴木康江教授、南前恵子教授、 佐々木くみ子教授、中川真由美准教授
	成人・高齢者保健学	片岡英幸教授、廣岡保明教授、鱒岡直人教授、 中條雅美教授、谷村千華准教授
	地域保健学	吉岡伸一教授、浦上克哉教授、松浦治代教授、 山本美輪教授
	先進保健学	森徹自教授、網崎孝志教授、二宮治明教授、 北村幸郷教授、笠城典子准教授、藤原伸一准教授

Ⅳ. 授業科目及び授業内容

授 業 科 目	単位数	授 業 内 容
統合保健学研究方法特論	2	博士課程「統合保健学」のきっかけとなった看護学と 医用検査学との合同研究の経緯を解説しながら、異分野共同 研究の利点と問題点を考察し、今後の統合保健学研究のあり方を 論ずる。また、疾病に関する研究方法について、糖尿病、高血 圧症、脂質異常症、脳血管障害などの生活習慣病の病因、特に 発症と進展の根底にある分子生物学的背景、遺伝子異常、サイ トカインの関与について述べ、疾患の予防、医療対策について 看護学、医用検査学の立場からの研究方法を教授する。同時に 、不妊症に対する生殖医療、遺伝子異常の解析方法と共に、こ れらを取り巻く医療倫理について講義する。なお、多数教員に よる講義内容の調和、整合性を高める目的で、全教員、全受講 学生参加によるパネル式の講義を初回と最終授業にて2回行う。
統合保健学特別研究	4	看護学、医用検査学を融合させ、科学的根拠を基盤に して、その理解のもとに保健学としての問題点を引き出 しながら、人間の健康と福祉の増進に貢献でき、心と科 学の統合（統合保健学）の確立をめざした特別研究の達 成をめざす。
成育保健学特論	2	成育とは、成長・発達をとげて次世代を育むという人 間の本質的な営みに焦点を当てた用語である。成育保健 学特論では、成育のそれぞれの時期（胎児期、新生児期 、思春期、妊娠期、周産期、更年期などのライフステー ジ）の特徴と保健・健康問題について学習するとともに 、保健・医療分野の実際の業務の基盤となっている知識 をより深く掘り下げて学習する。成長と発達、障害児、

		思春期、周産期、子育て、更年期、生活習慣病と食生活・アレルギーなどのテーマについて、講義・演習形式で授業を行う。
成育保健学演習	2	成育とは、成長・発達をとげて次世代を育むという人間の本質的な営みに焦点を当てた用語である。成育保健学演習では、成育保健学特論で習得した知識をもとに、成育のそれぞれの時期の特徴と保健・健康問題についてより深く学習するとともに、保健・医療分野の実際の業務の基盤となっている知識について考察を深めることを目的としている。成長と発達、障害児、思春期、周産期、子育て、更年期、生活習慣病と食生活・アレルギーなどのテーマについて、演習形式で理解を深める。
成人・高齢者保健学特論	2	成人・高齢者における慢性疾患、呼吸障害、がん、終末期医療等に関する病因、病態について科学的根拠に基づいて考察できるよう教授し、統合保健学の理解をめざす。
成人・高齢者保健学演習	2	成人・高齢者における疾患発生の成因、予防対策、ケア等について科学的根拠に基づいた研究方法のあり方を演習し、実践能力の向上をめざす。
地域保健学特論	2	日本における高齢化現象は、加速し、その対策が急務となっている。山陰地方は全国でも有数の高齢化地域であり、人口移動が少なく、地域に密着した高齢化に関する固定研究が行いやすい環境にある。認知症や精神障害者を中心にして、地域医療のあり方、地域における障害者支援対策の実践と問題点、地域看護学の概説、ヘルスプロモーション、ノーマライゼーションやエンパワメント、高齢者の倫理的問題について教授する。
地域保健学演習	2	アルツハイマー病の発症に関与する脳内特殊蛋白蓄積の解析方法及び本疾患の早期診断システムを用いた疾患予防に関する地域疫学調査を指導する。成人におけるストレスの対応や高齢障害者を取り巻く諸問題及び地域看護の概念などを取り上げ、良い地域ケアシステムの構築をめざした実践活動を演習させる。
先進保健学特論	2	神経科学、生活習慣病、悪性腫瘍における遺伝子異常を含めた分子生物学的解析方法を教授する。また、バイオインフォマティクス・バイオスタティスティクスの保健医療領域におけるデータ解析やシミュレーション技術についても教授する。これらの知識を基盤にして、科学的根拠に基づいた知識を保健学に役立てる方策について指導する。
先進保健学演習	2	神経系の発生メカニズム、遺伝子疾患の解析方法、生体の恒常性を守るメカニズムについて、具体的事例を提示して演習させる。さらにバイオインフォマティクス・バイオスタティスティクスの保健医療領域における展開について演習させる。この過程で、科学的根拠に基づく保健学の重要性を認識させる。

V. 履修方法、修了要件及び学位授与

1. 授業科目

授業科目は、特論2単位（1単位15時間）、演習2単位（1単位30時間）、特別研究4単位（1単位45時間）からなります。

2. 履修方法

選択・必修合わせて12単位以上履修します。

- ① 共通科目1科目（2単位）を必修とします。
- ② 専門科目は、特別研究（4単位）を含めて10単位以上履修します。
- ③ 残りの必要単位がある場合は、指導教員の指導のもとに専門科目から選択します。

3. 授業形式

授業は、統合保健学の立場から、全科目（共通科目、専門科目）において看護学、医用検査学の専任教員及び非常勤講師によるオムニバス方式で実施し、それぞれの立場から科学性を強化した講義等の内容とします。

4. 指導体制

学生ごとに主指導教員及び副指導教員を置き、研究指導を行います。

主指導教員、副指導教員は、看護学と医用検査学の教員がそれぞれペアを組んで1人の学生の指導にあたることを原則とします。看護学系の学生であっても、研究テーマによっては医用検査学の教員が主指導を担当し、逆に医用検査学系の学生であっても、看護学の教員が主指導を担当することがあります。

5. 博士後期課程修了の要件

3年以上在学して、所定の授業科目12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び試験に合格することとします。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、2年以上在学すれば足りるものとします。

6. 授与する学位等

専攻名 保健学専攻

本課程を修了した者には、博士（保健学）の学位を授与します。

VI. 社会人受入のための昼夜開講制

1. 目的

通常の方法では、社会人の多くは学業に専念することが困難であるので、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を導入し、夜間開講を含む昼夜開講を実施します。これにより、明確な目的意識と使命感を有する留学生や社会人を、積極的に受け入れます。

2. 社会人学生履修指導及び研究指導の方法等

- (1) 授業は夜間（18：30～21：40）に開講します。また、土曜日、日曜日、夏季・冬季休業期間にも開講し、単位修得のための便宜を図ります。なお、通常の間帯にある授業も履修可能とします。
- (2) 研究指導及び論文の作成にあたっては、夜間、土曜日、日曜日あるいはコンピュータネットワーク等のマルチメディアを利用して指導します。
- (3) 研究課題についても、職場における業務を活用したテーマ、あるいは職場から生じた問題点などに関連したテーマ、職場との共同研究体制が生かされるテーマ等を選択する工夫を行います。
- (4) 特例の適用を受けた学生の必要単位数は、授業科目、履修方法、履修指導、研究指導方法、修了要件、学位等も、一般学生と同様です。

Ⅶ. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（3年間）では修了が困難である者に対し、標準修業年限を超えて一定の期間（最長6年間）にわたり計画的な履修を認める制度です。

また、授業料については、標準修業年限の3年間で支払うべき総額を、長期履修を認められた期間で均等割して支払うことになります。

なお、1年次より長期履修制度の適用を希望する者は、指導予定教員の承認を得て、入学手続き時に申請することが必要です。詳細については、医学部学務課教育企画係までお問合せください。

Ⅷ. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

- (1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- (3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、医学部学務課学生係（TEL(0859)38-7100）へお問い合わせください。

Ⅸ. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

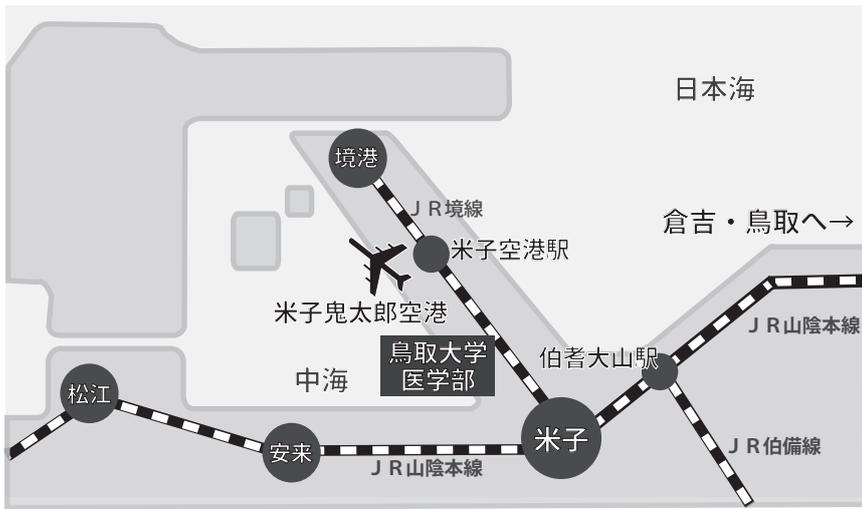
Ⅹ. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

また、本学では大学院博士課程（博士後期課程）に入学・進学する学生の研究意欲の向上及び優れた研究の推進に資するため、1・2年次学生を対象とした「エンカレッジ・ファンド」があり、研究科長から推薦された者に年額50万円を限度として奨学金が給付されます。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

米子地区案内図



- ① J R米子駅から徒歩約15分
- ② J R米子駅からタクシー約5分
- ③ 米子鬼太郎空港からタクシー約20分



アレスコ棟



医学部附属病院



総合教育棟



総合研究棟



生命科学棟

平成31年度 鳥取大学大学院医学系研究科 博士後期課程

志 願 票

※必ず出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。

専攻	* 保健学専攻		受験番号	*	
出願方法	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会人 <input type="checkbox"/> 外国人学生				
志望部門	* 統合保健学				
ふりがな 氏名		男 女	昭和 平成	年 月 日	生 才
出願資格	大学 学部 学科 昭和 年 卒業 平成 年 卒業見込 鳥取大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 昭和 年 月 修了 平成 年 月 修了見込				
国籍 (外国人のみ記入)					
ふりがな 住所	〒 -				
TEL (携帯) () -					
連絡先 又は 勤務先	ふりがな 氏名 (又は勤務先)			続柄	
	ふりがな 住所	〒 -			
TEL () -					

**出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用
してください。**

- 備考 (1) *欄を除きすべて記入してください。
 (2) 出願方法を選択し口に✓を付してください。
 (3) 裏面の履歴欄も記入してください。

平成31年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士後期課程

写 真 票

専攻	* 保健学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
 (上半身・無帽・正
 面向きで、出願前
 3か月以内に撮
 影したものをの
 り付けしてくだ
 さい。)
 縦4cm×横3cm

----- 切り離さないで提出してください -----

平成31年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士後期課程

受 験 票

専攻	* 保健学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
 (上半身・無帽・正
 面向きで、出願前
 3か月以内に撮
 影したものをの
 り付けしてくだ
 さい。)
 縦4cm×横3cm

裏面も記入してください

見本

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用
してください。

履 歴	
学 歴 ・ 職 歴	
年 月 日 }	高等学校卒業
年 月 日 }	

*希望する研究テーマおよび、指導教員を下欄に記入してください。

研究テーマ	指導教員名
-------	-------

研究業績調書

鳥取大学大学院医学系研究科

氏名		志望部門	統合保健学	受験番号	*
<p>学術論文、研究発表・報告、特許等</p> <p>現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。</p> <p>(例えば学術論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入し、研究発表の場合は、発表題目、発表者名、発表学会名、発表年月を記入してください。なお、資格認定申請者名には二重下線を付してください。)</p> <p>(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名(発表者名)が多数にわたる場合は、主な著者(発表者)を数名記入し以下を省略しても可(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入)。)</p>					

- (注)1. 学術論文等は、別刷り又は写しを添付してください。なお、パソコンを使用する場合は、本様式に印刷又は本様式(A4版)に
なり作成してください。
2. 研究業績のない場合は、「なし」と記入してください。
 3. *印欄は記入しないでください。

(様式2)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないでください。

受 験 承 認 書

平成 年 月 日

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

所属機関名

所属長名

公
印

下記の者が、鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程を受験することを承認します。

なお、同人が貴研究科に入学する場合は、在職のまま就学することを承認します。

記

所属部署

職 名

氏 名

※所属長（学長、学部長、病院長、代表取締役 等）の公印によるものを提出してください。

※入学後、職場が変更する者については、「なお、」以下を二重線で消してください。

宛 名 票

- ◎ 志願者は本票を学生募集要項記載の出願書類と一緒に必ず提出してください。
- ◎ 楷書で丁寧に記入してください。

入試に関する確実な連絡先を記入してください。

場所がアパート、団地等の場合は「様方」の欄にアパート、団地名等を記入してください。
※印欄（受験番号欄）以外はすべて記入してください。

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。	受験番号 ※
□□□-□□□□	
	様方
	様

本

見

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せいただき、添付されている指定用紙を使用してください。

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。	受験番号 ※
□□□-□□□□	
	様方
	様

※はがしたり、切ったりしないでこのまま提出してください

(様式A)

平成31年度鳥取大学大学院医学系研究科 保健学専攻博士後期課程入学試験出願資格認定申請書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

申請者
氏名

印

生年月日 昭和・平成 年 月 日

別紙の書類を添付のうえ、標記出願資格の認定を申請します。

記

認定を希望する区分・出願資格	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 出願資格2	<input type="checkbox"/> 出願資格6
	<input type="checkbox"/> 社会人	<input type="checkbox"/> 出願資格3	<input type="checkbox"/> 出願資格7

※ 認定を希望する区分・出願資格の□にチェックを付けてください。

